

# DECOR

## SEIKO

### 掛時計 機械式

### 取扱説明書

この度はデコールセイコーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

# ■特長

## ●8日巻のぜんまい時計

※この時計は、ぜんまいを動力とし、振り子が调速機として働く伝統的な機構を採用しています。  
8日に1回、ぜんまいを巻いてください。時間精度はお客様がご自身で振り子の振り玉を回して調整してください。なお、振り玉を回し調整してもクォーツクロック同様の精度が出ないことを、あらかじめご了承ください。

## 必ずお守りください。安全上のご注意



### 警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容

#### <付属部品(掛け具)について>

掛け具は、幼児の手が届かないところへ置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

#### <梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。



### 注意

けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

#### <掛け方について>

本製品は確実に掛けてください。

本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。

ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。  
厚い木の壁・木の柱以外の場所に取り付ける場合は、販売店または担当セールスにご相談ください。

※ 掛け具に本製品を掛けた際、確実に掛かっていることを確認してください。

|                         |                                                              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 厚い木の壁・木の柱に掛けるとき         | 付属の専用掛け具(専用ねじ、パネ座、平座、スパーサー、振れ止め金具用ねじ)をご使用ください。               |
| 石膏ボードの壁に掛けるとき           | 付属の掛け具は使用しないでください。<br>販売店または担当セールスにご相談のうえ、正しく安全に設置してご使用ください。 |
| コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき |                                                              |

#### <製品の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

#### <分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

#### <製品の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。



## 使用場所について



暑い場所



寒い場所



振動の激しい場所



湿気の多い場所

下記のような場所では使用しないでください。

本製品の品質が確保されなくなり、精度不良を起こすことがあります。  
また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。  
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。  
プラスチック製の部品が劣化することがあります。
- ちり、ほこりの多い所。  
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。  
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。  
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。  
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。
- 木枠の製品の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、3～5年に一度の点検・調整（有料）をおすすめいたします。  
販売店またはクロックお客様相談室にご相談ください。

### 【木枠・金属枠・石枠の製品の場合】

- 汚れやほこりを取るときは、付属のクロス（または超極細繊維布）で軽く乾拭きしてください。

※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。  
変色したり、傷が付く恐れがあります。

※輸送やメンテナンス時などにお使いいただくために、個装箱や緩衝材の保管をお願いします。

# ご使用方法 ▶ (製品により外観が異なりますが、ご使用方法は同じです。)

## ご使用の前に製品・付属品をご確認ください。

### 《製品》

- 時計ケース 1個
- 機械式時計体(文字板つき) 1個
- 振り子 1個

### 《付属品》

- 取扱説明書(本書) 1冊
- 保証書 1冊
- 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
- 手袋 1双
- クロス 1枚
- 巻きかぎ 1個
- ポーチ(巻きかぎ収納用) 1個
- 掛け具

### ＜厚い木の壁・木の柱用掛け具＞

- 専用ねじ 1本
- バネ座 1個
- 平座 1個
- スペーサー 1個
- 振れ止め金具用ねじ 1本



専用ねじ(大)



バネ座



平座



スペーサー

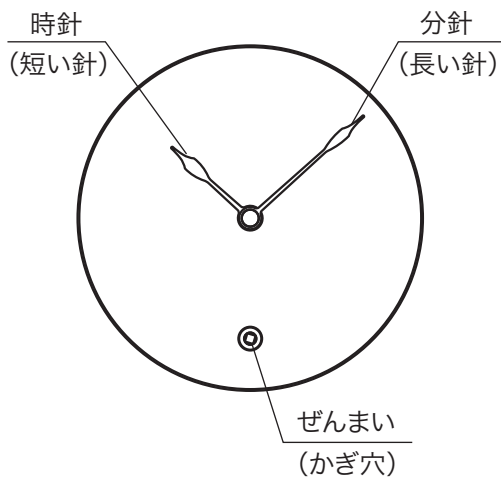


振れ止め金具用ねじ  
(小)

※巻きかぎ、掛け具は機械式時計体箱の中に収納されています。

- 厚い木の壁・木の柱以外の場所に取り付ける場合は、必ず販売店または担当セールスにご相談ください。  
製品の重量、掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、正しく安全に設置してください。製品の重量は製品底面に貼られたシールに記載されています。
- 添付の掛け具は、本製品及び適応した壁以外に使用しないでください。落下する恐れがあります。

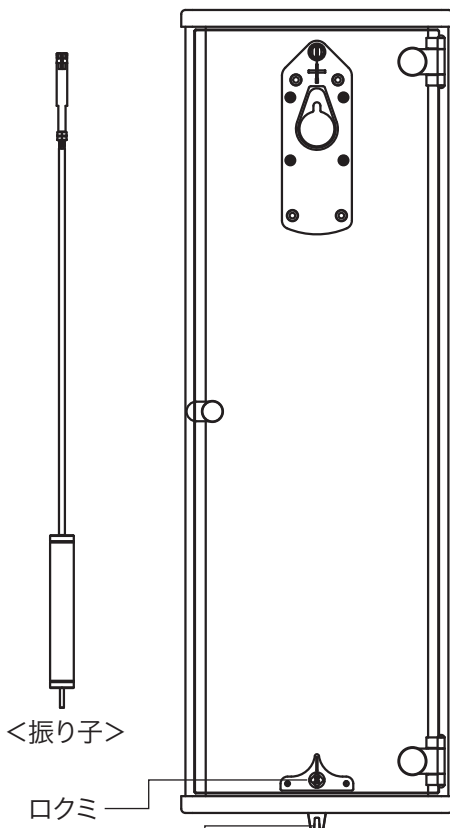
# ご使用方法 ▶ (製品により外観が異なりますが、ご使用方法は同じです。)



<機械式時計体>



<巻きかぎ>



振れ止め金具

<時計ケース>

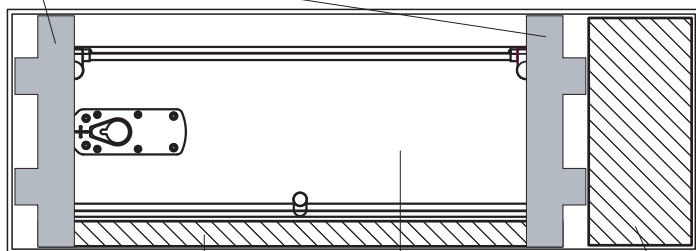
# 設置方法

1 ～ 6 の手順に従って設置してください。

## 1 個装箱から時計ケースを取り出してください

時計ケース用緩衝材と時計ケース内部の緩衝材をはずしてください。

時計ケース用緩衝材  
(計2個)

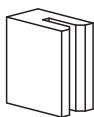


振り子箱  
(時計ケース下に収納)

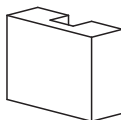
時計ケース

機械式時計体箱

時計ケース内部緩衝材①  
(計2個)



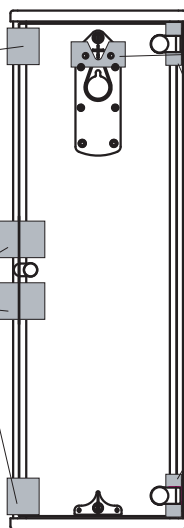
時計ケース内部緩衝材②  
(計2個)



時計ケース内部緩衝材③  
(1個)



ヒンジ部保護シート  
(計2枚)



# 設置方法

## < 掛け具一式 (透明の袋) >



専用ねじ(大)



振れ止め金具用ねじ  
(小)



バネ座



平座

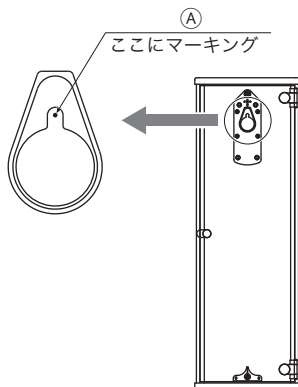


スペーサー

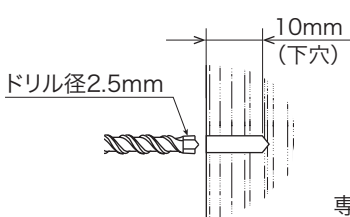
## 2 時計ケースを掛けてください

### 注意

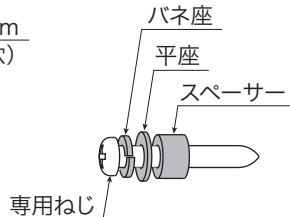
- ・扉を開くと扉の重さで時計ケースのバランスが崩れます。二人以上で作業してください。
- ・時計ケースが固定されるまでは、扉を開くと扉の重さで時計ケースが左へ傾きます。扉を開く際は必ず**時計ケースを手で押さえて**作業してください。



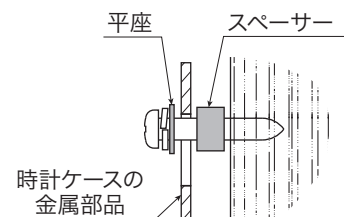
- ① 設置したい場所に時計ケースを合わせてください。
- ② 位置を保持したまま扉を開き、専用ねじを取り付ける位置にマーキングしてください。(Aの位置)
- ③ マーキングした位置にφ2.5mm程度の下穴をあけてください。(図1)
- ④ 専用ねじにバネ座・平座・スペーサーを順番にセットしてください。(図2)
- ⑤ 専用ねじを半分まで締め込んだところで平座とスペーサーの間に時計ケースを掛けてください。(図3)



<図1>



<図2>



<図3>

- ⑥ 扉を開き、時計ケースが前後に動かない程度まで専用ねじを締めてください。  
(このあと、左右に動かして時計ケースの傾きを調整します。)

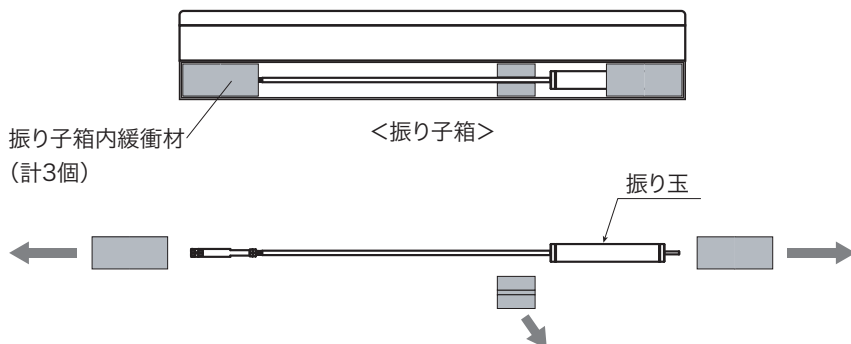
## 設置方法

### 3 振り子を振り子箱から取り出してください

#### 注意

緩衝材をはずす時に振り玉が回らないように注意してください。  
出荷時に調整した時間精度とずれてしまいます。

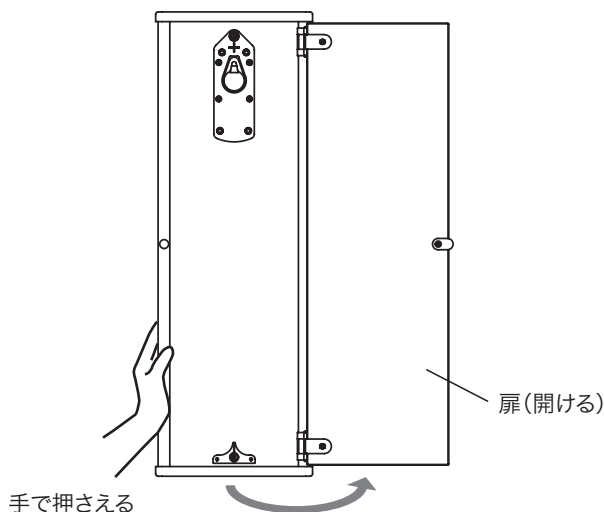
緩衝材を振り子からはずしてください。



### 4 扉を開き、振り子を掛けてください

#### 注意

時計ケースを壁に掛け、扉を開くと扉の重さで時計ケースが左へ傾きます。必ず時計ケースを手で押さえて作業してください。

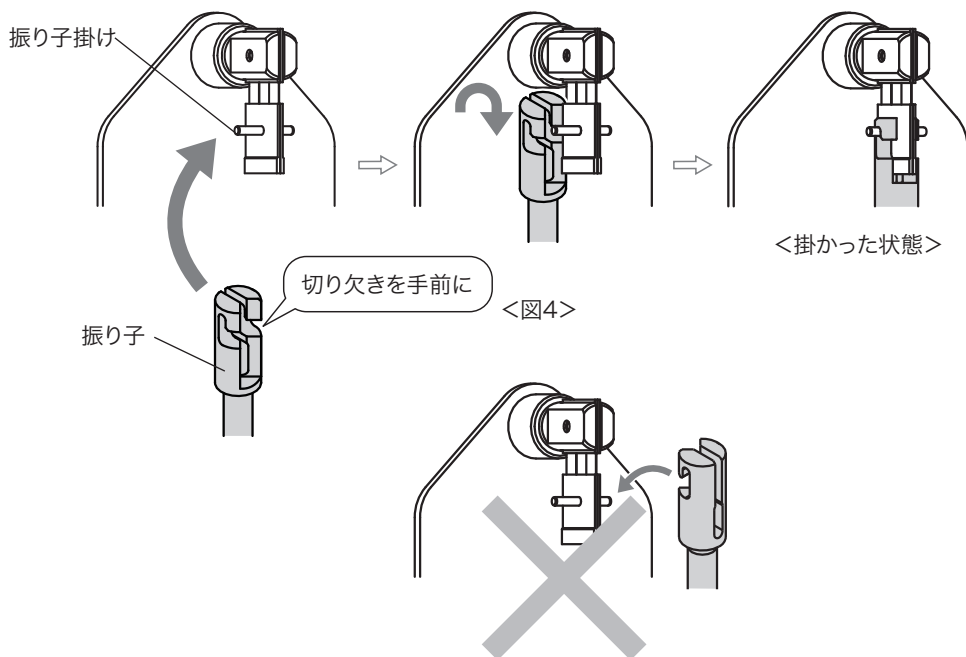


# 設置方法

①図4のように振り子掛けに振り子を掛けてください。

## 注意

振り子は奥から掛けてください。手前から掛けると故障の原因となります。  
また振り子掛けは変形しやすい為、振り子を掛ける際は十分ご注意ください。



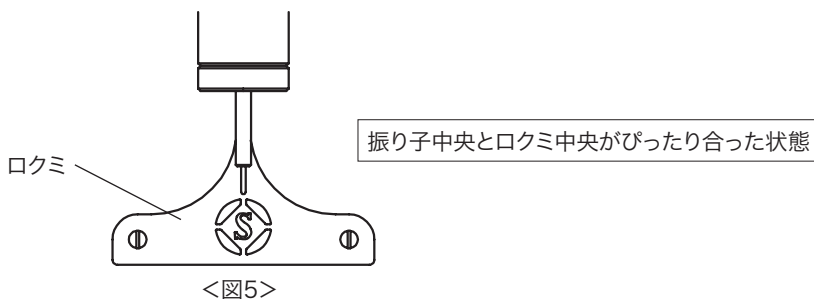
②扉を閉めてください。

## 5 時計ケースを垂直にし、固定してください

①時計ケースの傾きを調整し、図5を参考に振り子とロクミがぴったり合うようにしてください。

## 注意

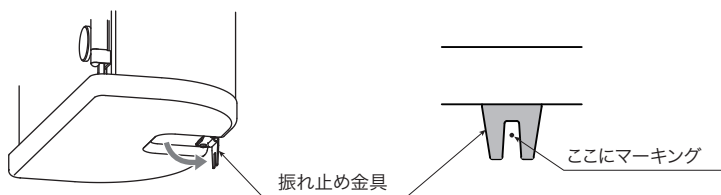
振り子中央とロクミ中央がぴったり合っていないと、遅れ・止まりの原因となります。



# 設置方法



②図6のように、「振れ止め金具」を起し、ねじ止めする位置をマーキングしてください。



<図6>

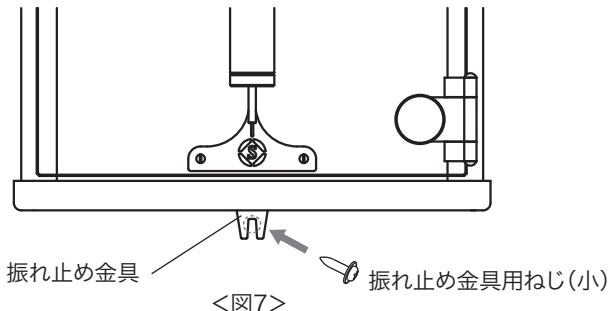
③振り子をはずし、時計ケースを掛けている専用ねじをゆるめて時計ケースを壁からはずしてください。

④マーキングした位置にφ1.5mm、深さ5mm程度の下穴をあけてください。

⑤再度、時計ケースを専用ねじに掛けてねじを締め(前後に動かない程度)振り子を掛けてください。  
(P.6/図3)

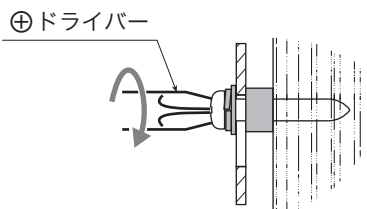
⑥振り子とロクミが合っていることを確認し、振れ止め金具を下穴に合わせ、振れ止め金具用ねじを奥までしっかり締めて固定してください。(図7)

※使用するねじを間違えないように注意してください。(小ねじ)



<図7>

⑦振り子をはずして、時計ケースを掛けている専用ねじを最後までしっかり締めてください。  
その後、改めて振り子を掛けてください。

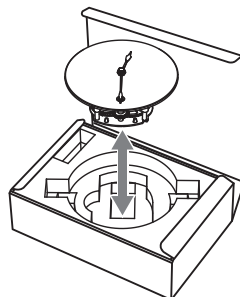


# 設置方法

## 6 機械式時計体を掛けてください

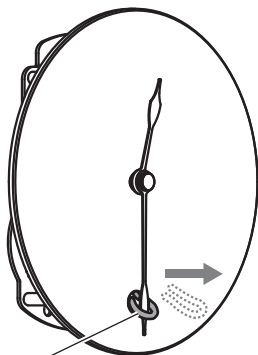
### 注意

機械式時計体を置く際は必ず元の向きで機械式時計体箱に戻してください。  
箱から取り出す際、時針(短い針)、分針(長い針)、振り子金具には手を触れないようにしてください。  
時針(短い針)、分針(長い針)、振り子金具に無理な力が加わると故障の原因となります。

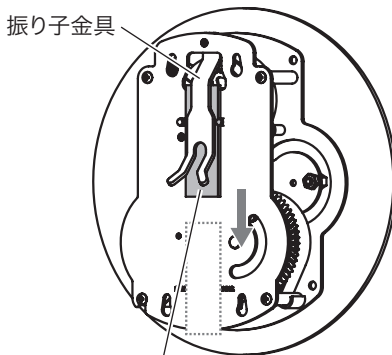


<機械式時計体箱>

- ①振り子を静止させてください。
- ②機械式時計体を専用小箱から取り出し、針のストッパー、背面にあるストッパーを図8のようにはずしてください。針のストッパーをはずす際は針を曲げないように注意してください。

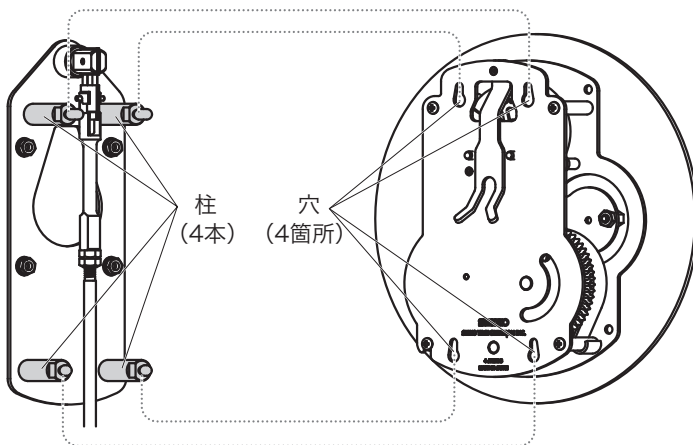


ストッパーをそっと手前に引き抜く



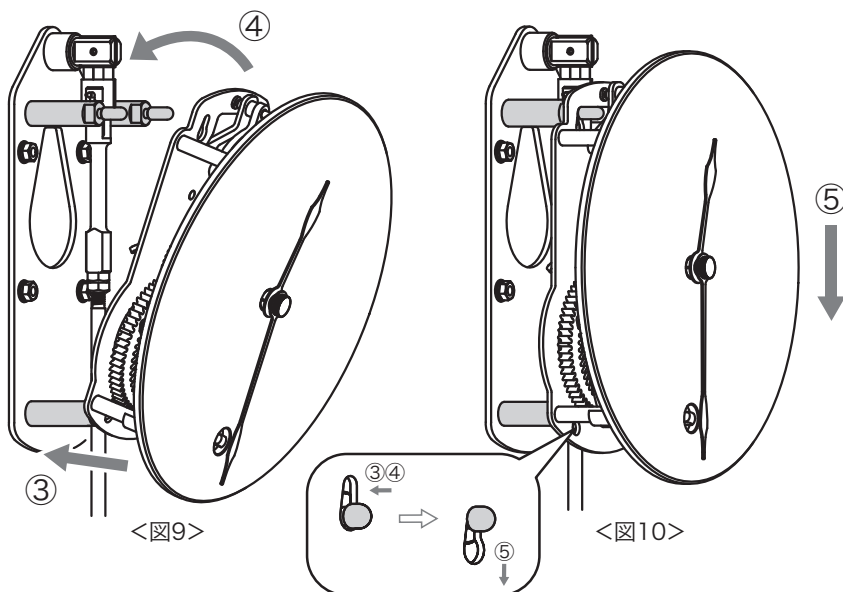
ストッパーを下に引き抜く

<図8>



# 設置方法

- ③図9のように柱(下)2本に穴(下)2箇所を合わせてください。
- ④図9のように柱(上)2本に穴(上)2箇所が合うように押し当ててください。
- ⑤4本の柱と4箇所の穴が一致したら、図10のように機械式時計体を下げてください。

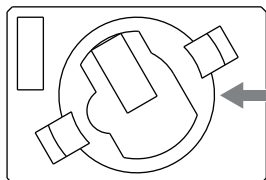


- ⑥機械式時計体を軽く左右、前後に動かし、確実に掛かっている事を確認してください。

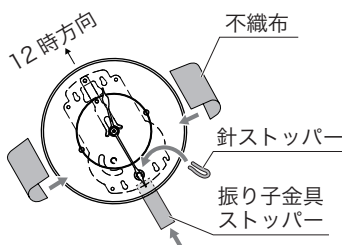
## 注意

振り子、機械式時計体を時計ケースに付けたまま場所を移動させたり、輸送しないでください。時計ケースから振り子、機械式時計体が外れ、故障の原因となります。機械式時計体箱一式はお手元での保管をおすすめします。移動や輸送などで機械式時計体を取り外した際は、機械式時計体箱に収納してください。機械式時計体を直接床などに置いてしまうと、部品が変形するなど故障の原因となります。

### <収納時の向き>

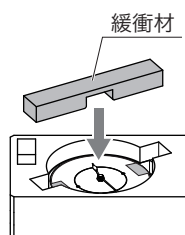


<機械式時計体箱>



<機械式時計体>

※針の位置は12:30に  
合わせてください。



# 操作方法

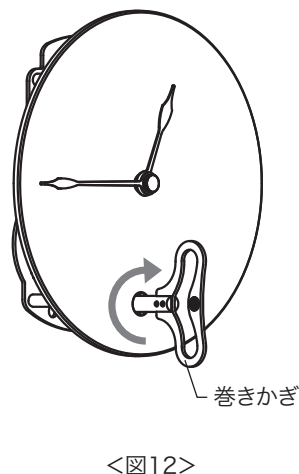
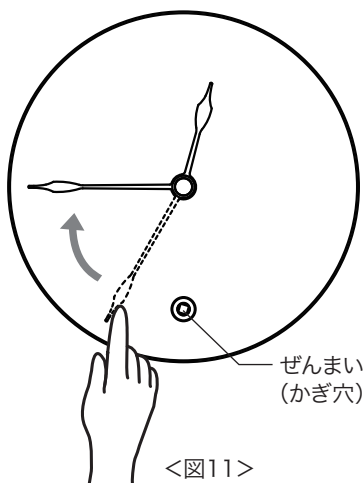
1 ～ 4 の手順に従って操作してください。

## 1 ぜんまいを巻いてください

### 注意

ぜんまいを巻く際は必ず振り子を静止させた状態で行ってください。  
振り子が揺れた状態でぜんまいを巻くと故障の原因となります。  
分針(長い針)を動かすときは、時針(短い針)に触れないようにご注意ください。  
反時計回りには回さないでください。  
また、指先のケガ等にも十分お気をつけください。

- ①扉を開けてください。
- ②振り子を静止させ、分針(長い針)の先端を時計回りに回して、かぎ穴を見えるようにしてください。  
(図11)
- ③「巻きかぎ」をかぎ穴の奥まで差しして、時計回りにゆっくり、回らなくなるまで巻いてください。(図12)



## 2 時刻を合わせてください

分針(長い針)の先端を時計回りに回して現在時刻に合わせてください。

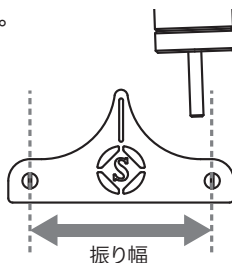
# 操作方法

## 3 振り子を左右に振らせてください

### 時計が動き出します

①図13の振りで振り子を点線の位置まで移動させ、静かに放してください。

振り子がチクタク動き出します。



<図13>

### 注意

チクタク音がしない場合は、再度振り子を振らせてください。振り幅が少ないことが考えられます。

振り幅以上に振らせないでください。故障の原因となります。

②扉を閉めてください。

## 4 時計の精度を合わせてください

時計の精度は工場出荷時に調整していますが、設置条件等により出荷時の精度が出ないことがあります。2～3日お使いいただいた後、必ず精度を合わせてご使用ください。

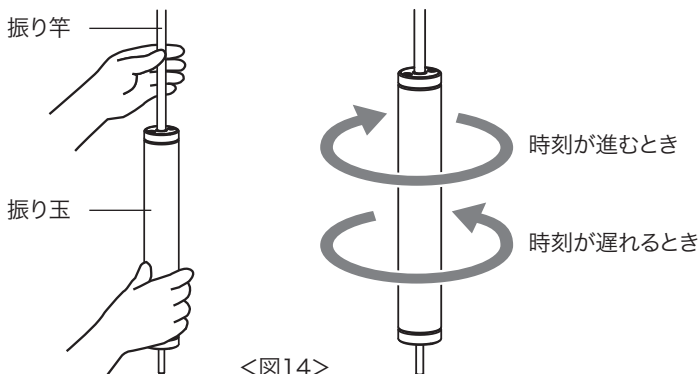
※振り玉を1回転させる事で、1日につき約60秒(1分)の進み遅れを調整することができます。

- ・時刻が進むとき(振り玉を下げる)

図14のように振り竿は回転させないように手で押さえながら、振り玉を左に回してください。振り玉が下がり、針の進みが遅くなります。

- ・時刻が遅れるとき(振り玉を上げる)

図14のように振り竿は回転させないように手で押さえながら、振り玉を右に回してください。振り玉が上がり、針の進みが早くなります。



<図14>

# 製品仕様

▶ (改良のため予告なく変更する場合があります。)

● 機 械 式 (8日巻ぜんまい使用)

● 時 間 精 度 : 日差±30秒

※工場出荷時調整値 (室温: 約25℃、ぜんまい最大巻き上げ時)

● 使 用 温 度 範 囲 : -10℃~50℃

※本製品は設置環境の温度が時間精度へ影響します。

季節ごとの気温変化等により進みや遅れとなる場合があります。

その際は再度ご自身で時間精度をご調整ください。(P.13 操作方法4参照)

## 故障かな?と思ったときは



本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。

| 症 状                | 考えられる原因               | 処 置                                                            |
|--------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------|
| 針が動かない<br>振り子が動かない | ・ぜんまいが回らなくなるまで巻かれていない | ・ぜんまいを回らなくなるまで巻いてください                                          |
|                    | ・振り子が振られていない          | ・P.13の操作方法3に従い、振り子を振らせてください                                    |
|                    | ・機械式時計体のストッパーを外していない  | ・P.10の設置方法6に従い、ストッパーを外してください                                   |
|                    | ・製品が前後に傾いている          | ・製品を壁に密着させてください                                                |
|                    | ・製品が左右に傾いている          | ・振り子中央とロクミ中央がぴったり合うようにしてください                                   |
| 8日間動かない            | ・ぜんまいが回らなくなるまで巻かれていない | ・ぜんまいを回らなくなるまで巻いてください                                          |
| 進む または 遅れる         | ・振り玉の位置が合っていない        | ・P.13の操作方法4に従い、振り玉の位置を調整してください                                 |
|                    | ・製品が垂直に掛けられていない       | ・振り子中央とロクミ中央がぴったり合うようにしてください                                   |
|                    | ・振り子が時計ケースと接触している     | ・P.7、8の設置方法4に従い、振り子を正しく掛けてください<br>・時計ケースが前後に傾かないように掛け具に掛けてください |
|                    | ・機械式時計体が正しく掛けられていない   | ・P.10、11の設置方法6に従い、機械式時計体を正しく掛けてください                            |

## 保証・アフターサービス



- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。  
なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- 長くご愛用いただくために、3～5年に一度の点検・調整（有料）をおすすめいたします。販売店またはクロックお客様相談室にご相談ください。



Lined area for writing, consisting of 20 horizontal lines.

[illegible]



Lined area for writing, consisting of 20 horizontal lines.

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。

本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：AS〇〇〇、FS〇〇〇など）

**クロックお客様相談室 0120-315-474**

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

**セイコーウォッチ株式会社**